

## 県立広島大学における授業の実施状況等について

令和2年9月17日  
大学教育振興担当

## 1 前期授業の実施状況

前期授業（5/7～8/12）については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の実験や実習を除き、オンラインにより、オンデマンド方式とリアルタイム方式を組み合わせ実施した。

## 2 後期授業の実施方針

### （1）授業の実施

後期授業（9/24～2/4）は、対面授業とオンライン授業を組み合わせ実施することとし、一つの授業科目の中で、講義が中心となる回はオンラインにより、アクティブ・ラーニング（グループワーク・ディスカッション・フィールドワーク等）や実験等が中心となる回は対面授業により実施する。

授業形態	実施内容
対面授業	アクティブ・ラーニングや実験等が中心となる回 ～ 講義室に収容する学生数を定員の1/2までとし、定員を超える場合には、講義室を分けて対面とオンラインを組み合わせ実施
オンライン授業	講義が中心となる回 ～ 一部の科目は、すべての回をオンラインにより実施 ～ オンデマンド方式による場合においても、メールやチャット機能等を活用して、質疑応答や意見交換の機会を確保

### （2）実習の実施

医療福祉関係の国家資格取得や教員免許取得に係る実習について、後期から現場での実習を拡大する。

- ・ 保健福祉学部では、8月17日から医療機関等における実習を順次実施
- ・ 教育実習については、後期期間中に中学校・高等学校において3週間程度実施

## 3 新型コロナウイルス感染防止対策

- 県外から来広する学生には、後期授業開始の2週間前までに来広して、健康観察・行動履歴の記録をさせる。
- 学生には、健康管理アプリを活用して毎日の健康状態を記録させ、対面授業や現地実習参加時に担当教員が確認する。
- 現地での実習に参加する学生には、2週間前から実習終了までの間、不要不急の外出を控えさせるとともに、受入施設の感染防止マニュアル等を順守させ、実習先施設における感染防止対策の徹底を図る。